

関係するころざし読本の資料 「備前堀（びぜんぼり）」



読み物資料等の内容

あさひは仲良しのゆうたからザリガニつりにさそわれます。ところが、当日はあいにくの雨降りです。お母さんからは「危ないから遊びに行かないで」と、ゆうたからは「雨上がりはいっぱいつれるよ。」と言われます。そんな時、あさひはおじいちゃんから、備前堀を作りかえる計画があったときの尾高惇忠の行動を聞きます。惇忠のことを聞き、あさひはどうしたでしょう。また、迷ったときにあなたはどうしますか。

授業の様子



児童の感想



お母さんの言うこともわかるし、ゆうたのさそいをことわるのもわかるし、決めるのがむずかしいな。

わたしは、どちらにしようかまよったときは、さいごのしごまでよくかんがえてからきめようと思います。



これはいい、これはだめとかんがえてきめれば、気持ちよくせいかつできると思います。

まよったとき、やくそくしているのなら、ちゃんとあい手に自分のかんがえをつたえるようにします。



授業を参観した
教員の感想



授業のはじめに「ゲー、ペタ、ピン、顔は先生」の合言葉で、児童は休み時間との切り替えができていました。落ち着いた学習態度でしたし進んで発表する児童が多く、授業が途切れませんでした。授業は、尾高惇忠の勇敢さや正しいと感じたことをやり遂げたエピソードに影響を受けて児童の思いを変容させていくパターンが一般的かと思いますが、児童はすでに「相手を尊重しながらも、自分の正しいとおもったことを行いたい。」との学習の到達点に達していました。